

# 維新 ~~失策~~ の4年間



「橋下さんなら政治を変えてくれる」「維新は大阪を変えてくれそう」——少なからぬ方が、こんな幻想を抱きました。しかし、この4年間、橋下さんと「維新の会」が府政・市政でやってきた実際を見て下さい。政治も、大阪も変えることができないばかりか、「維新八策」ならぬ「維新失策」ぶりがリアルです。

## 1 「大阪都」構想の破たん

大阪市民の税金を32億円も投じて実施を強行した「住民投票」。「維新の会」も国民の税金である政党交付金をあてにして5億円を使った「金権」ぶり。しかし、市民の審判は「ノー」でした。橋下市長は「僕が間違っていた」として「政界引退」を表明したのに、また掲げるなんて。

## 2 中小企業切りすて 大阪経済の落ち込み、借金増

4年前、「毎年、大阪の実質経済成長率を2%以上」とマニフェストでうたった「維新の会」。ところが、中小企業切り捨てで「府内総生産」「家計消費」「雇用報酬」のどれも、**全国以上の低迷ぶり**。府の財政も、深刻な借金漬けになっています。

## 3 敬老パスの有料化

4年前のダブル選挙。「維新の会」の選挙公報では「騙されないで下さい。敬老パスは維持します」「私鉄でも利用できる制度にします」とありました。「維持」とは「現状を変えない」ことです。ところが、市長に就任するや、「年間3000円」「1回乗車ごとに50円」と有料化を強行しました。

## 4 住吉市民病院つぶし

「近くに府立急性期医療センターがある」「5億円浮く」との理由で、**住吉市民病院の廃止を決めた橋下市長**。しかし、住之江区住民などが過半数の署名を集めて存続・現地建て替えを求め、医師会も廃止にはきっぱり反対。“いのちよりカネ”の病院つぶしを許してはなりません。

## 5 WTC咲洲庁舎の失敗

「府庁を移転する」といって**85億円で購入した旧WTCビル**。ところが東日本大震災で大きな被害を受け、補修費に莫大な費用が必要に。防災拠点には、とてもならないことが明瞭に。それでも「咲洲庁舎」と、「大手前庁舎」との「二重庁舎」を解消しようとしていません。

## 6 大阪市職員「思想調査」

「橋下徹」市長名で、市職員すべてに、「政治的集会に参加したことがあるか」「誰が誘ったのか」を報告せよと「業務命令」(2011年12月)。おぞましい思想調査です。**メディアも「戦慄すべき」と批判し、司直の断罪が下されました。**

## 7 公募校長、区長、教育長の失敗

**鳴り物入りですすめた「民間公募」**。しかし、橋下市長が任命した公募校長、公募区長、さらには公募教育長、公募交通局長が続々とスキャンダルにまみれ、パワハラで府教育長も辞任に追い込まれました。

## 8 「維新の党」の分裂

**政争にあけくれた4年間**。橋下さんは石原さんとくっついて「日本維新の党」をつくったかと思うと、離れ、今度は江田さんと「維新の党」をつくってまた分裂。そのきっかけになっているのが「政党助成金」の取りあいです。彼らのいう「既成政党」批判は、そのままみずからに跳ね返ります。



オール大阪vs「維新」がよくわかる！  
ごっしょに考えましょう  
**まるわかり  
パンフ** 好評配布中

